

協働パイロット事業 (H21) 企画提案書

団体名：NPO法人 大日倶楽部

1.事業の名称

井川古道「大日街道」の復元計画

2.事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

口坂本温泉から、大日峠を経て井川に通ずる「大日街道」は (現在の県道27号とは別) 登り33町 (3.3km)、下り33町 (3.3km) 幅2~3尺 (1m前後) の山道で、1町 (約100m) 毎に観音像があり、数十年前までは、大井川奥地への唯一の生活と文化と歴史の道であった。沿道には南アルプスの眺望をはじめ、豊かな自然、史跡、民話、教育施設、トロッコ電車、ダム、温泉など知的に、身体的にも好奇心をゆさぶる要素が多く、市民だけでなく全国から協働の志を集め、復元に取り組む計画です。

3.協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと

見捨てられているこの価値ある街道を復元するために、当NPO法人は「大日街道」に関する多くの資料・情報を集め、広くその価値を告知し、理解と協力を仰ぎ、市民の協働参加を募り復元のための起爆剤的な役割を果たして、行政にアピールし放置しておけない盛り上がりを作り、市が主体となる事業にしたいと願っております。つまり我々大日倶楽部の役割は 1.古道の復元・作成 2.リーフレットの制作等であり、行政に望むことは 1.広報活動 2.「井川グリーンツーリズム」等公的計画への位置づけと推進となります。

4.成果目標 (できる限り具体的に表現してください)

「大日街道復元計画」は多年度に渡る事業展開になるため成果目標を、第一期の活動目標に限定する。

第一期の目標「掘りおこす」

- 1.資料・情報の収集と整理・公開
- 2.現地下見ハイク (会員・一般市民の希望者・関係者と大日街道の実際のルートハイキング気分で行く)
- 3.ルートの特定、地権者へのあいさつ
- 4.街道の整備・道標の設置
- 5.リーフレットに作成 (復元計画とルートその価値をまとめ、協力・参加募集のツールを作り配布、プレスリリースする。

5.事業計画

井川古道「大日街道」復元計画は、単年度で終了することは困難であり完全終了までには3年余を見込んでいます。以下には事業計画の全体を表記してありますが平成21年度協働パイロット事業に対しては、第一期計画分の「掘りおこす」の事業にて応募いたします。行政の施策に公式に位置づけられて、必要な予算が付けばより速く、しっかりした事業として実現でき、いちばん望ましいことですがそうでない場合でも今年で終りということではなく、自分たちの出来る範囲で実現のため努力いたします。

第一期計画「掘りおこす」

○パイロット事業分野

- 1.ルートの特定のための現地調査
- 2.地権者との調整とルートの確定
- 3.ルートの修復と道標の設置
- 4.リーフレットの作成

○自主事業分野

- 1.実行委員会の立ち上げと組織づくり
- 2.協働スタッフの確保（一般市民公募）
- 3.情報の収集と整理・保存

第二期計画「再現する」

- 1.講演会の実施（歴史研究会・研究者・大学教授・僧侶等）
- 2.ホームページの作成（情報公開・広報紙、新聞等への再度リリース）
- 3.関連周辺の整備（一里塚・船着場・水飲み茶屋跡・トイレその他等）
- 4.標識・案内板等の設置
- 5.ルートマップ、ガイドブックの作成
- 6.パトロール、保全修復
- 7.ボランティアガイドの養成
- 8.活用可能な団体への利用プレゼン（例、青少年自然の家等）

第三期計画「活用する、自然保護のメッセージを伝える、後世に残す」

- 1.大日街道復元完成記念ハイク
- 2.大日街道復元報告会
- 3.街道復元関連資料（写真・映像・文章で保存）と公開
- 4.街道沿いに在来種の山野草園・葉草園を作り訪れる人々に保護を訴えるとともに楽しんでもらえる場所を設置。
*4.は、当大日倶楽部の中心をなす事業であり、会員のボランティア活動に対する感謝の気持ちをあらわし、また街道を往来する人々のオアシスとして癒しになるものと考えます。

6. スケジュール

2009

- 4月26日（日） 口坂本一大日峠 下見調査 参加者4名
 5月10日（日） 井川湖一大日峠 測定調査（仮杭打ち）参加者4名
 5月24日（日） 大日峠ー井川湖ー井川大日院 下見ハイク参加者9名
- 6月13日（土） 第一回発起人会「実施計画の検討」
 6月28日（日） 第二回発起人会「実行委員の選定」

7月～8月の予定

- 実行委員の決定
- 実行委員会の立ち上げ
- 一般市民の協働スタッフの公募・公募用リーフレットの作成
- 資料・情報の収集
- 現地調査・地権者へのあいさつ ルートの特定 杭打ち（井川側）

8月～12月の予定

- 一般市民の協働スタッフの公募、実動参加
- 地元住民の理解と協力の依頼（井川町内会・口坂本町内会）
- 現地調査 地権者へのあいさつ・ルートの特定・杭打ち（口坂本側）
- 地元団体企業等の協力依頼（井川森林組合・財産区・観光協会・JA・中電
その他企業団体）
- 行政への協力依頼（静岡県・静岡市・教育委員会その他）
- 大学・研究機関・研究者への協力依頼
- 他NPO法人との連携（例山岳ガイド・その他）
- ボランティアガイドの養成

7. 実施体制および主要スタッフの経歴

長島磯五郎	NPO法人大日倶楽部理事長 静岡油化工業株式会社社長 BDF製造の先駆者として新聞テレビ出演、講演活動多数
古畑作治	グラフィックデザイナー、プランナー、静岡山岳会OB 大日倶楽部理事 えほんの郷初代館長
滝浪 明	筑波大学技官 郷土史研究会 大日倶楽部会員地元出身
青木義邦	郷土史研究会 大日倶楽部会員地元出身
久保田三郎	井川歴史研究者 元井川北小学校教諭
古畑洪子	NPO法人大日倶楽部事務局長 日本ファリネットクラブト 協会教授 人形作家 希少植物研究家

8.特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

NPO法人大日倶楽部は2006年春に発足、現在35名ばかりの会員で活動する小さな会です。井川が好き、消えて行く希少植物を守りたいという同じ思いを持つ仲間が集まったもので、地味に楽しく絶滅危惧種の保護育成をし、豊かな自然を取り戻し訪れる人々の癒しに応える里山づくりをしたいと願う団体です。スタート当初から「希少植物の保護活動」のほかに計画しているのは「休耕地の再生」間伐材を有効活用した「丸太小屋コンテスト」忘れられた「井川古道の再生整備」などがあり、3年の間に「希少植物の保護育成」「休耕地の再生」を実行していますが、今年は念願の「井川古道大日街道」にすでに着手しております。35名の会員ですが多彩なスタッフで中高年が中心ですが各自の専門性の高い技術は、会の運営、行動に貢献しています。

協働パイロット事業 (H21) 見積書

団体名：NPO法人 大日俱樂部

企画のタイトル：井川古道「大日街道」の復元計画

項目	金額	説明
道具代 ツルハシ、ゲンノウ、 カケヤ、スコップ、ナタ、 ノコギリ、鎌、草けずり、 ロープ、メジャー等	50,000円	道具は現在個人の私物に頼っていますが、消耗品でもあり、一般市民の参加が始まると「大日街道」復元のための専用道具が必要
消耗品 ビデオテープ、マイク ロチップ、ノート、 コピー用紙、プリント 用紙、FAXインキ、プ リンターインキ、封筒等	50,000円	現状の記録からはじまって途中経過の記録を保存、参加した人々の記録も詳細に保存 (リーフレットの作成予算は別)
通信費 電話、切手	20,000円	当会の通信費予算に加算
資材費 ポイント杭、道標	100,000円	井川側@3,000円×33本=99,000円 口坂本側@3,000円×33本…自己負担
雑費	18,000円	
小計 A	238,000円	
消費税 B=A×0.05	11,900円	
合計 A+B	249,900円	

◎実費弁償契約の希望の有無

有

無

*参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途
自己負 (H21予算)	50,000円	予算オーバーに備えての資金
寄付金	100,000円	@3,000円×33本 (口坂本側) 道標分

企画提案の概要書

提案団体名	NPO法人 大日倶楽部
企画案のタイトル	井川古道「大日街道」の復元
提案の要旨	<p>つい半世紀まで井川は陸の孤島として外界から隔絶、封印されてきました。それが電源開発によって水没し、得たものも大きかったが多くの財産も失ってしまった。わずかに残っていた貴重な資料も学術的に統一保管されることもなく、分散し流失しています。「大日街道」も現在では廃道になってしまい、忘れ去られようとしています。ところがこの峠の道を実際に使われ歩かれた多くの人々がまだまだご健在でナマの情報が収集できる最後のチャンスで、これを復元させることにより井川の歴史・文化に再度光りが当たるきっかけになればと思います、何世紀にも渡って重要な役割を果たして来た「大日街道」、我々は歴史と文化のこの峠の道を、単に井川地区の住民のためだけでなく、静岡市民全体の重要な遺産と位置づけ、何とか復元しなければと企画いたしました。</p>
金額	249,900